



デザイン/深瀬智美

H167-178-351 つつみ編みのがまぐち

<2017S/S>

☆でき上がり寸法 幅約11cm、高さ約11cm(がまぐち含む)。

☆使用糸 エコアンダリヤ(かすり染め) (40g玉巻)

使用色	使用量
黒系(No.256)	0.3玉

☆副資材 つつみ編み専用コード (H204-635-2) 黒……約1m80cm

バッグ用口金 (H207-003-4) アンティーク……1組

☆使用針 ハマナカアミアミかぎ針(金属製)6/0号、毛糸とじ針 (H250-706)6本1組。

☆用意するもの メジャー、手芸用ポンド、縫い針、手縫い糸

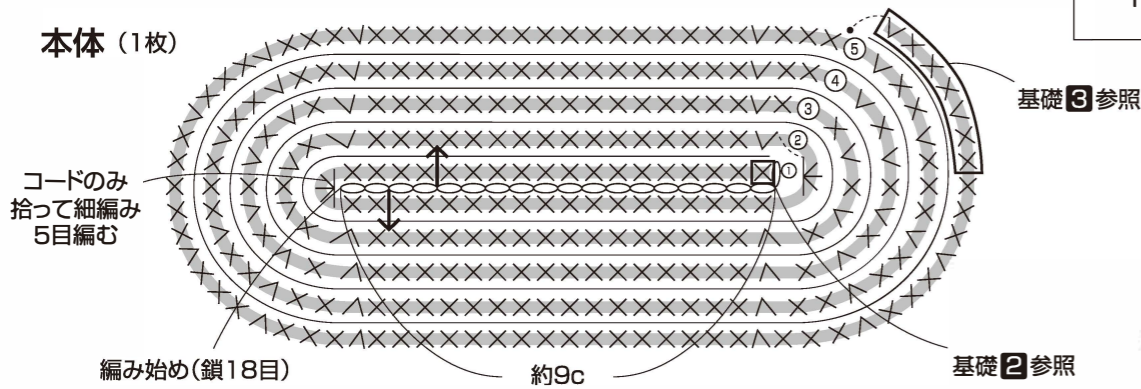
※右頁 **つつみ編みの基礎** をはじめにお読みください。

エコアンダリヤシリーズには従来よりUVカット効果があります。
※でき上がった作品の編み地によって効果は異なります。
詳しくはwebで公開中!! [エコアンダリヤシリーズ](#)

〈編み方〉

糸はエコアンダリヤ(かすり染め)1本どりで、つつみ編み専用コードをつつみながら編みます。がまぐちを手ぬい糸でつけ、仕上げます。

本体 (1枚)

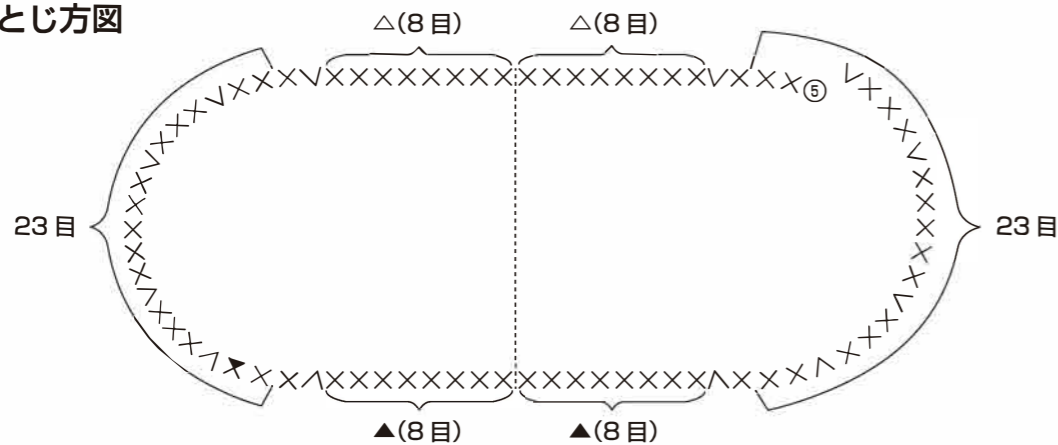


ゲージ

つつみ編み(つつみ編み専用コードを編みくるんだ場合) 19目9段が10cm角。

段	目数	増減
⑤	90目	
④	78目	12目増
③	66目	
②	54目	8目増
①	鎖18目から細編み46目拾う	

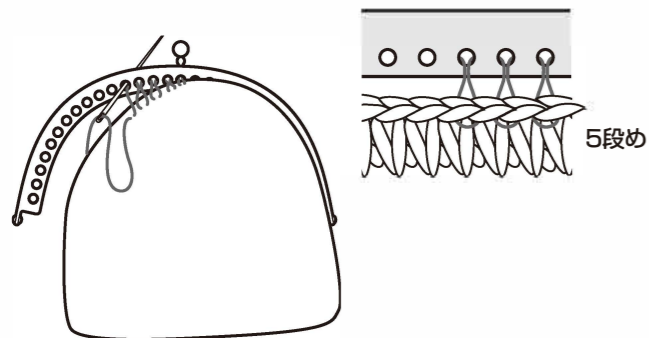
とじ方図



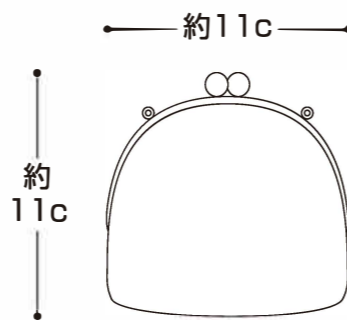
編み地を点線部分で外表に折りたたみ、△印どうし、▲印どうしの細編みの頭目を拾ってとじます。

がまぐちのつけ方

最終段の細編みの頭目をすくって同じ穴に針を2度ずつ入れてとじます。



でき上がり図



つつみ編みの基礎

最も大切なポイント

半周ごとに形を整えながら編み進んでください。

1 「つつみ編み」とは…

つつみ編み専用コードを芯にして、エコアンダリヤでつつむように細編みで編んでいく手法です。

2 つつみ編みの編み始め方 ※バッグの場合、底から編んでいきます。



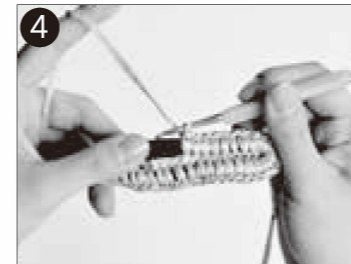
バッグ底の中心になる部分から編み始めます。必要な目数の鎖編みをします。



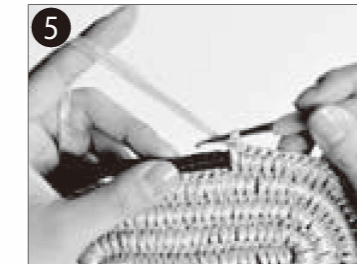
鎖の裏コブを拾い、コードをつつみ込みながら細編みで編み進めます。



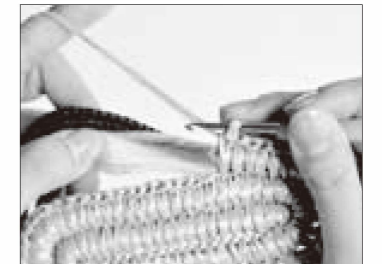
カーブのところは裏コブを拾わずコードのみ細編みをします。



次に作り目の反対側の目を拾い、同様にコードをつつみ込みながら細編みをします。



テキストにしたがって半周ごとに形を整えながら編み進めます。



☆お好みでカバーリング(添え編み)をしてください。カバーリングについては、次項4を参照ください。

ポイント

☆1段目が編めたら一度かぎ針をはずし、編み始めに残しておいたコードと、編みつつんでいく方のコードを両方引っぱり、底の長さをテキストの寸法に合わせてしっかりと整えます。ここでしっかり長さを合わせておくことがサイズ通りに編むためのポイントです。

☆2~3段編めたら、②で残しておいたコードの端を0.5~1cm程度にカットし、ほつれないように手芸用ポンドをつけておきます。

3 つつみ編みの編み終わり方

編み終わり位置の手前まできたらコードを3~5cmほど残してカットします。コードはたくさんの糸が編み込まれてきているので、手でほぐし、糸端がだんだん細くなるように角度をつけてカットします。ほぐしたコードを指で押さえながらコードが見えなくなるまでつつみ編みをし、編み終わりが自然になるようにします。

